

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○	○				○	○	○		○	○	○	○

## 企業の概要

企業・団体名	ラウンズ株式会社	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	10名
事業概要	声のバーチャルオフィスツール「roundz」開発および提供、テレワークコンサルティング業務、テレワーク専門メディア「シゴトバ」の運用		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	ラウンズテレワーク制度運用ルール
テレワーク担当部署	-
テレワーク対象者	全社員
実施者数	10名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 弊社代表が自ら子育てを通して働き方の選択肢の狭さを感じた経験から、働き方の多様性の必要性を強く認識し、テレワークを普及することを目的として「すべての人にテレワークという選択肢を。」という企業理念のもとに創業された企業である。そのため2018年の創業当時より、テレワークを推進する企業として自ら率先してテレワークを体験して、その経験を様々な活動を通して広めて、テレワーク普及に貢献してきている。

## テレワークの概要・特徴

- コロナ禍以前の創業時から全社員が、毎日完全テレワークを行っている。現時点での達成度合いは100%となっている。
- 声のバーチャルオフィスツール「roundz」を中心として様々なICTツールをフル活用している。
- 原則在宅勤務をしているが、1、2名が週数回子供の送り迎えのために、サテライトオフィスを利用している。
- テレワークを前提にした地方採用活動を行い、遠隔地にいる者でも、居住地で生活をしたまま業務を行っている従業員が2名いる。
- ワークेशन制度を利用して、北海道や南国リゾートの島々から業務を行っている従業員もいる。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### 【仕事と子育ての両立に貢献】

- 現在2名が子育てをしながらテレワークを行っている。子育てと仕事が両立できており、全員がテレワーク業務を満足している。

### 【ワークライフバランスの実現】

- 2名が地方の居住地で生活をしたまま業務しており、趣味と仕事の両立を行っている。現在1名がワーケーション制度を利用中。

### 【オフィス費用削減、通勤費削減】

- 全員分のオフィスを用意することなく、オフィス費用と通勤費を削減できている。

### 【生産性向上】

- 通勤がないこと及び自分のペースで仕事ができることにより、仕事に集中ができ、年々生産性が向上している。